

必要なときにお読みください



共通ユーティリティガイド

2008年1月 第1.0版

ホームページにて最新版ダウンロード・最新情報を提供しています。
<http://www.raotcsystems.com/service/>

ラトックシステム株式会社
RATOC Systems, Inc.

概要

このガイドでは、各ユーティリティの使い方を記載しています。

フォーマットユーティリティ編

1 Windows Vista/XP/2000でのフォーマット

- 1. OS標準のフォーマット
通常フォーマットは「ディスクの管理」を使用します。
- 2. RATOCオリジナル「フォーマットユーティリティ」Windows Vista/XP/2000用
「ディスクの管理」でフォーマットできないハードディスクやFAT32フォーマットをおこなう場合に使用します。

2 Windows Me/98SEでのフォーマット

- 1. OS標準のフォーマット
- 2. RATOCオリジナル「フォーマットユーティリティ」Windows Me/98SE用
GUIベースでフォーマットやパーティションを作成できます。[マイ コンピュータ]にハードディスクのアイコンが表示されていない場合にも使用できます。

3 Mac OS でのフォーマット

- 1. Mac OS X標準のディスクユーティリティ
- 2. Mac OS 9標準のディスクユーティリティ

温度監視ユーティリティ編

- 4 RATOCオリジナル「温度監視ユーティリティ」Windows Vista/XP/2000用
SMARTコマンド対応のハードディスクから内部の温度情報を読み出して、監視するユーティリティです。システムに常駐し、設定温度に応じて警告メッセージを表示することができます。

警告

フォーマットを行うと、すべてのデータは消去されます。フォーマットを実行する際、選択ドライブに間違いがないかよくご確認ください。

フォーマット形式についての注意(Windows)

- ※WindowsとMac OSとで共有する場合、FAT32形式でフォーマットしてください。NTFS形式は、Mac OSでは読み込みのみとなります。
- ※動画データなどで1つのファイルサイズが4GBを超える場合は、FAT32形式でフォーマットされたディスクに保存されません。
- ※フォーマット形式が「ベーシック」ではなく、「ダイナミック」としてフォーマットされている場合、USB接続のハードウェアでは使用できません。(マイクロソフト サポート技術情報-254105に該当「ベーシックディスク」としてフォーマットなおしてください。

1 Windows Vista/XP/2000でのフォーマット

対応機器 eSATA | SATA | USB | IDE | IEEE1394 | SCSI

1-1. OS標準のフォーマット

通常のフォーマットでは、「ディスクの管理」を使用してください。

1. [スタート]→[マイ コンピュータ] (Vistaはコンピュータ) を右クリックし、[管理]を選択します。
※Vistaでユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合、[続行]をクリックしてください。

2. 「ディスクの管理」でフォーマットします。

- ① ディスクの管理を選択



ディスクが表示されていない場合、下記「未フォーマットハードディスクの場合」を参照しフォーマットしてください。

- ③ フォーマットを選択

- ④ ボリュームラベル(ドライブ名)を入力
- ⑤ ファイルシステムを選択
※ハードディスクの容量が32GBを超えた場合、ファイルシステムは「NTFS」のみしか選択できません。(OSの制限)
※早くフォーマットを完了したい場合、「quick フォーマットする」にチェックを入れます。



- ⑥ 【OK】をクリック



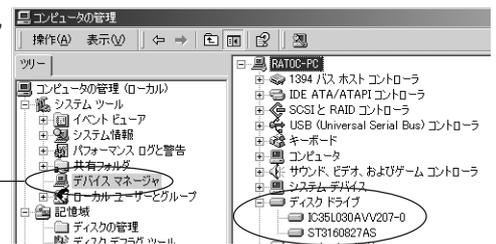
「未フォーマットハードディスクの場合」

ご注意 U2-DK1/U2-MDK1/FR-DK1/FR-MDK1/FR-DK2をWindows XP/2000でご使用で、500GB以上の未フォーマットハードディスクをフォーマットされる場合、**1-2.**「RATOCオリジナル「フォーマットユーティリティ」Windows Vista/XP/2000用」でフォーマット作業をおこなってください。

1. [スタート]→[マイ コンピュータ] (Vistaはコンピュータ) を右クリックし、[管理]を選択します。
※Vistaでユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合、[続行]をクリックしてください。

2. 「デバイスマネージャ」でドライブが認識されているか確認します。

- ① デバイスマネージャを選択



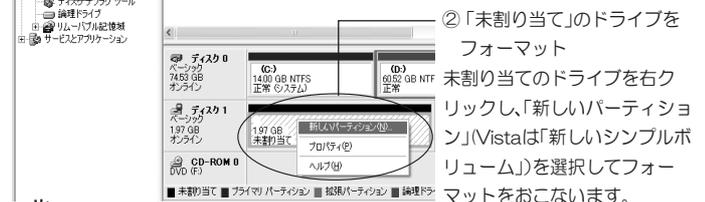
- ② 「ディスクドライブ」をダブルクリックして開く

接続しているハードディスクが表示されている場合、ドライブは正しく認識されています。

3. 「ディスクの管理」でドライブをフォーマットします。

- ① ディスク管理を選択

※ハードディスクの署名をおこなっていない場合、署名ウィザードが起動しますのでディスクの署名をおこなってください。



② 「未割り当て」のドライブをフォーマット
未割り当てのドライブを右クリックし、「新しいパーティション」(Vistaは「新しいシンプルボリューム」)を選択してフォーマットをおこないます。



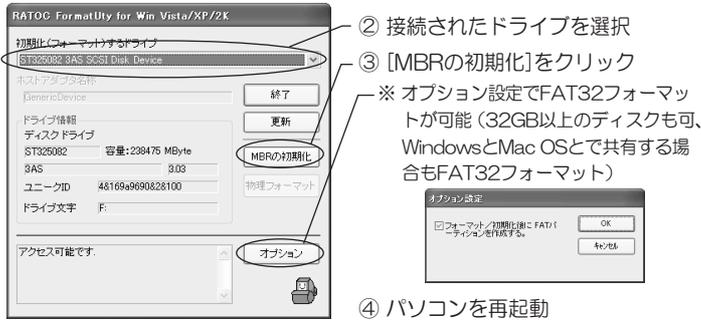
ドライブは認識されているのに、「未割り当て」のドライブが表示されていない場合、**1-2.**「RATOCオリジナル「フォーマットユーティリティ」Windows Vista/XP/2000用」を参照してください。

①-2. RATOCオリジナル「フォーマットユーティリティ」 Windows Vista/XP/2000用

「ディスクの管理」に表示されない場合(Windows以外でフォーマットしたハードディスクなど)や、FAT32フォーマットをおこなう場合に使用します。このユーティリティを使用してディスク上のMBR(マスターブートレコード)を初期化し、「ディスクの管理」に表示されるかを確認してください。

1. 「フォーマットユーティリティ」でMBRを初期化します。

- ① [スタート]→[プログラム]→[RATOC Format Utility]→[Format Utility]を選択
※ みあたらない場合は、フォーマットユーティリティをインストールしてください。



2. 「ディスクの管理」でフォーマットします。

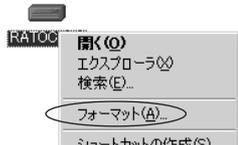
手順は①-1. 「未割り当てドライブのフォーマット」を参照してください。
※ 手順1.③でオプション設定した場合は、「ディスクの管理」でのフォーマットは不要です。

② Windows Me/98SEでのフォーマット

対応機器 SATA SATA USB IDE IEEE1394 SCSI

②-1. OS標準のフォーマット

1. [マイ コンピュータ]をクリックします。
2. ハードディスクのアイコンを右クリックして、[フォーマット]を選択します。



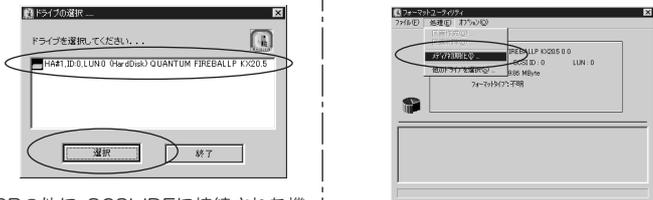
「マイ コンピュータ」にハードディスクが表示されていない場合は、
②-2.(下記)を参照してください。

②-2. RATOCオリジナル「フォーマットユーティリティ」 Windows Me/98SE用

GUIベースでフォーマットやパーティションを作成できます。「マイ コンピュータ」にハードディスクのアイコンが表示されていない場合(未フォーマットのハードディスクなど)にも使用できます。ハードディスクのほかSCSI MOにも対応しています。(CDやDVDなどはフォーマットできません。)

1. インストールしたフォルダの中からFRFMTW9X.EXEを実行します。
2. フォーマットを指定します。

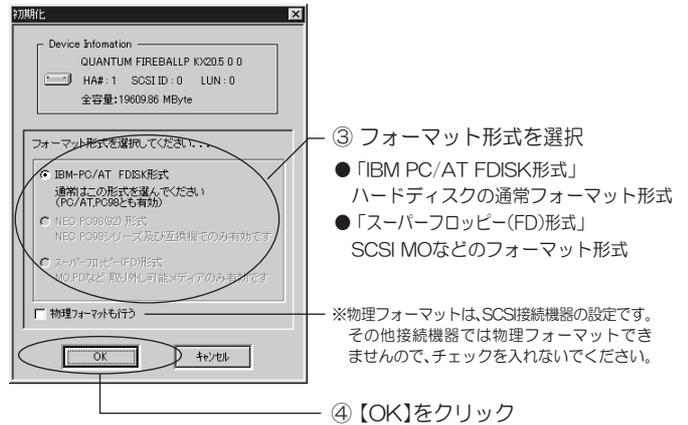
- ① ドライブを選択し[選択]をクリック ② 【処理】-[メディアの初期化]を選択



※USBの他に、SCSI、IDEに接続された機器もリスト表示されます。選択するドライブが目的のポートに接続された機器であることを必ず確認してください。

【③につづく】

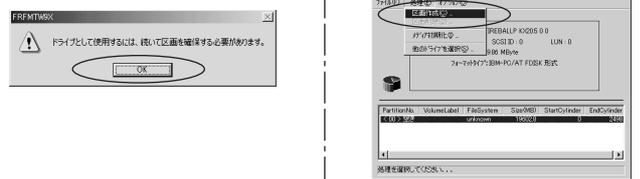
【③につづく】



3. 確認画面が2度ほど表示されますので、確認し[OK]をクリックし処理を進めてください。

4. 「IBM-PC/AT FDISK形式」を選択した場合は、次の操作をおこないます。

- ① 「区画を確保する必要があります。」 ② 【処理】→[区画作成]を選択
メッセージで【OK】をクリック



5. 区画作成(パーティション)を指定します。



6. 確認画面が表示されますので、確認して[OK]をクリックし処理を進めてください。

7. フォーマット完了です。 フォーマット後の情報を有効にするために、次の手順をおこなってください。

- ① 【ファイル】-[終了]を選択 ② 「デバイスは更新されました。」
メッセージを確認し【OK】をクリック



※SCSI MOなどのリムーバブルメディアの場合は「更新結果を反映させるために、メディアをイジェクトします。よろしいですか?」のメッセージを確認し[OK]をクリック。

8. 手順7が終わった状態では、ドライブは認識していません。 ドライブの再認識には、次の方法があります。

- 方法1: Windows Me/98SEを再起動する。
方法2: ドライブの取り外しをおこない、接続ケーブルを一旦抜いてから挿し直す。

3 Mac OSでのフォーマット

警告

フォーマットを行うと、すべてのデータは消去されます。フォーマットを実行する際、選択ドライブに間違いがないかよくご確認ください。

3-1. Mac OS X 標準のディスクユーティリティ

対応機器 eSATA SATA USB IDE FireWire SCSI

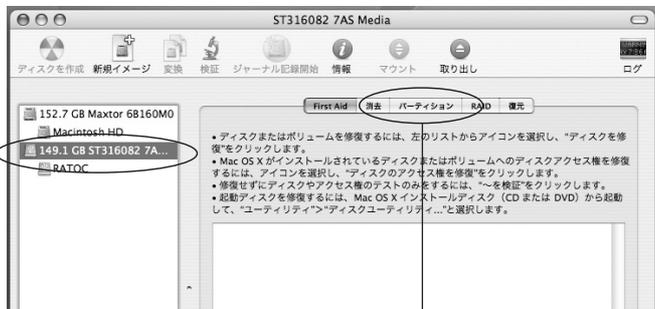
1. [Macintosh HD]- [アプリケーション]- [ユーティリティ]を開き、ディスクユーティリティをダブルクリックします。



ディスクユーティリティ

2. パーティション作成を実行します。(フォーマットも同時に実行されます)

- ①フォーマットするハードディスクを選択

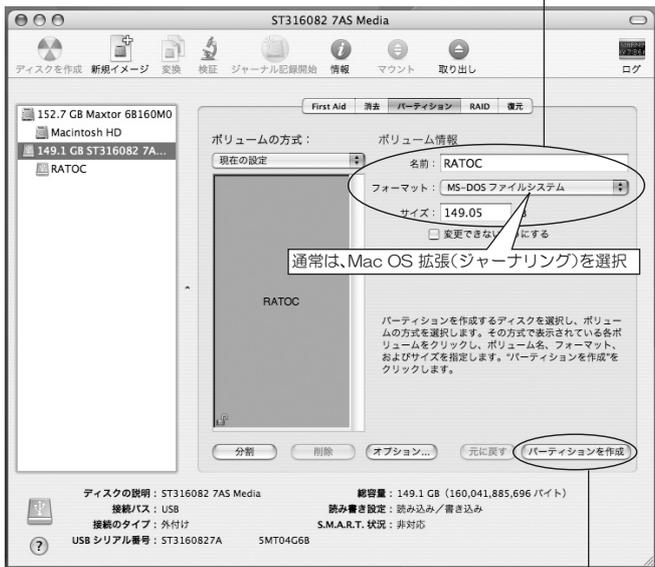


- ②[パーティション]タブをクリック

- ③ボリューム情報を設定

※[名前:]は半角英数字(8文字以内)で入力してください。それ以外の文字を入力するとマウントされない場合があります。

※Windows PC でもハードディスクを使用する場合は、[フォーマット:]でMS-DOSファイルシステムを選択します。



通常は、Mac OS 拡張(ジャーナリング)を選択

- ④[パーティションを作成]をクリック

※ Mac OS X 10.2.8以前では、画面が異なりますが、同様に「パーティション」を実行するとフォーマットが始まります。

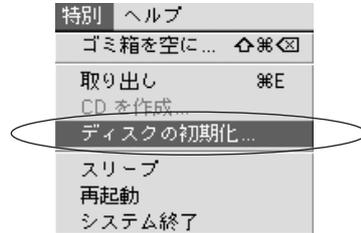
3-2. Mac OS 9 標準のディスクユーティリティ

対応機器 eSATA SATA USB IDE FireWire SCSI

1. デスクトップにあるハードディスクアイコンを選択します。

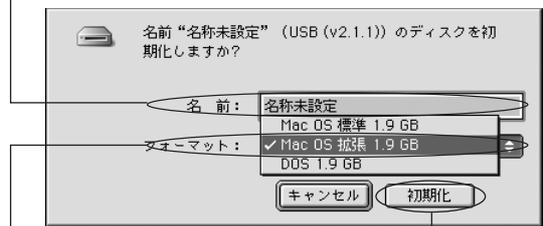


2. メニューバーから[特別] - [ディスクの初期化]を選択します。



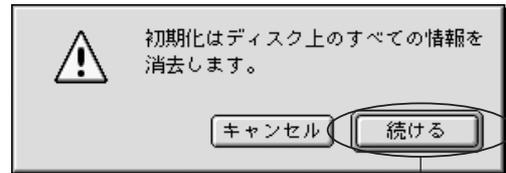
3. ディスクを初期化します。

- ①名前(ボリューム名)を入力



- ②フォーマットを選択

- ③[初期化]をクリック



- ④[続ける]をクリック



フォーマットされていない、または、Mac OSでは使用できない形式でフォーマットされている場合

ハードディスクのマウント時、Mac OSで「読み取れないディスク」「初期化しますか？」などのメッセージが表示されます。フォーマットする場合は「初期化」をクリックしてください。



(Mac OS Xの場合)



(Mac OS 9.2.xの場合)

4 RATOCオリジナル 「温度監視ユーティリティ」Windows Vista/XP/2000用

「温度監視ユーティリティ」は、S.M.A.R.T.コマンド対応のハードディスクから内部の温度情報を読み出して、監視するユーティリティです。システムに常駐し、設定温度に応じて警告メッセージを表示することができます。

■対応OS

Windows Vista/XP/2000

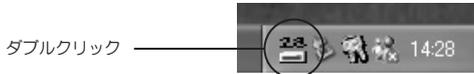
※Administrator権限のないユーザ環境でも動作します。

■温度監視ユーティリティの主な機能

1. 接続しているSATA、又はIDE ハードディスクドライブの情報表示
2. S.M.A.R.T.機能を備えたハードディスクドライブの属性と値の一覧表示
3. S.M.A.R.T.機能によるハードディスクドライブの温度チェックと警告表示
4. ハードディスクドライブの状態ログレポート表示および保存
5. ハードディスクドライブの温度変化グラフ表示および保存

4-1. ユーティリティ画面の表示

1. タスクトレイにあるアイコンをダブルクリックします。



※アイコンがない場合は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Temperature Utility]-[RATOC HDD Temperature Monitor]を選択してください。または、インストールをおこなってください。

2. ユーティリティのウィンドウが表示されます。

4-2. ユーティリティ機能説明

■[HDD情報]画面

…接続ハードディスクの情報表示



デバイスの温度とS.M.A.R.T.の対応状況を表示。S.M.A.R.T.機能をもったハードディスクは温度が表示されます。

※S.M.A.R.T.機能をもたないハードディスクは、「未対応」となり、温度は表示されません

「トレイ格納」ボタンをクリックすると、ウィンドウを閉じてタスクトレイに常駐し、ハードディスクの状態を監視します。

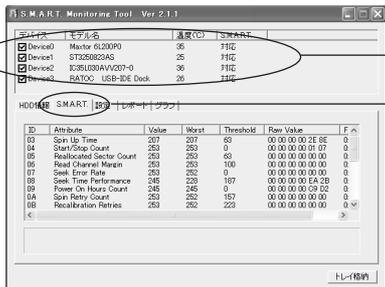
チェックボックスのチェックで、タスクトレイにハードディスクを表示します。



右クリックでメニュー表示

■[S.M.A.R.T.]画面

…ハードディスクの属性と値の一覧表示



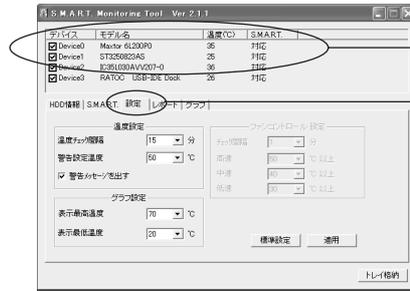
①ハードディスクを選択

②[S.M.A.R.T.]タブを選択

選択したハードディスクの内部情報が表示されます。

■[設定]画面

…ハードディスク温度チェックと警告表示



①ハードディスクを選択

②[設定]タブを選択

温度に関する設定をおこないません。

■[レポート]画面

…ハードディスクの状態ログレポート表示および保存



①ハードディスクを選択

②[レポート]タブを選択

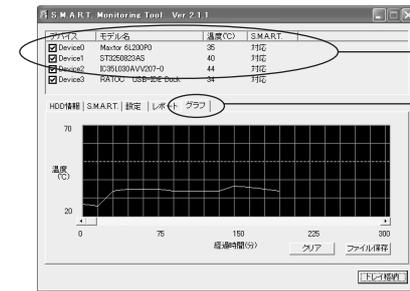
ハードディスクの記録が表示されます。

※記録は、デバイスの温度が警告設定温度を超えた場合や、S.M.A.R.T.の値が変化した場合におこなわれます。

※[ファイル保存]をクリックすると、CSV形式で保存できます。

■[グラフ]画面

…ハードディスクの温度変化グラフ表示および保存



①ハードディスクを選択

②[グラフ]タブを選択

ハードディスクの温度変化が表示されます。

※設定した「温度チェック間隔」ごとに取得した温度をもとに、グラフが生成されます。

※新しいドライブを検出すると、リセットされます(それまでの測定値はクリアされます)。

※[ファイル保存]をクリックすると、CSV形式で保存できます。

■温度監視ユーティリティの制限事項・注意

※S.M.A.R.T.に対応していないハードディスクの温度測定はできません。
 ※U2-DK1/U2-MDK1において(固定ディスクモードで使用している場合)本ユーティリティは動作しません。

※ハードディスクを交換した場合、温度取得できないことがあります。

※温度監視ユーティリティのインストール後に、Silxxxxチップ搭載のSATAホストアダプタに接続したSATAデバイスを追加した場合、温度監視を有効にするフィルタドライバを機能させるため、OS再起動が必要となります。

※ICHxRのRAID Modeの2番目以降のハードディスクの情報は取得できません。

※IDE HOST Adapter経由のハードディスクの情報は取得できません。

※SA-DK2EU-RのRAID Modeのハードディスクの情報は取得できません。